



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,808	3.0	610	△22.2	643	△18.7	381	△21.4
2024年3月期第1四半期	13,400	3.0	785	7.8	791	4.9	485	△2.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 387百万円 (△20.8%) 2024年3月期第1四半期 488百万円 (△2.2%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	15	43	15	28
2024年3月期第1四半期	19	64	19	44

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	29,918		15,754		52.4	
2024年3月期	30,987		16,068		51.6	

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 15,674百万円 2024年3月期 15,988百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	0.00	-	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期 (累計)	28,235	4.7	1,407	△12.7	1,409	△13.6	893	△16.9	36.22
通期	57,120	5.7	3,300	8.8	3,278	3.9	2,135	6.5	86.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を100,000株取得しております。2025年3月期の連結業績予測における「1株当たりの当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) セントケアほっと株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	24,998,733株	2024年3月期	24,998,733株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	379,648株	2024年3月期	279,648株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	24,703,700株	2024年3月期1Q	24,698,565株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されております。その一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しております。従業員の採用・定着に加えて生産性の向上が重要な経営課題となっており、2024年度の介護報酬改定では+1.59%の改定率の内、介護職員の処遇改善分は+0.98%と処遇改善に重点を置いた改定となっております。これに加えて診療報酬や障害福祉サービス等報酬といった介護・医療・障害福祉の3つの報酬の同時改定（いわゆるトリプル改定）年度となっており、その対応に追われることとなりました。

当社グループはこれらの制度の変化に迅速に対応していくとともに、引き続き中重度・医療的ニーズの高いお客様への対応を重要課題として、「これまでも、これからも、ずっと在宅」をスローガンに掲げ、お客様が住み慣れた地域で生活し続けることを可能にするソリューションを提供してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高では138億8百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益では6億10百万円（同22.2%減）、経常利益は6億43百万円（同18.7%減）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は3億81百万円（同21.4%減）と増収減益となりましたが、減益の主な要因としましては、①外部環境と報酬改定の影響②積極的な待遇改善の実施③新規出店による影響、によるものと捉えており、概ね想定どおりの結果となりました。

①外部環境につきましては、前期から続く病院や入居系施設への入院・入所等の流れの潮目が変わるには多少の時間を要するであろうという想定に対して、訪問系サービスを中心に依然として休廃止数は高止まりの傾向にあります。報酬改定による影響としましては、全体では増収微増益となっております。サービス別では、基本報酬の引き下げとなった訪問介護や定期巡回随時対応型訪問介護看護、上限価格の変更となった福祉用具貸与では利益面でマイナスとなっておりますが、その他のサービスでは基本報酬に加えて加算取得を進めたことでプラスとなっており、影響の大きい訪問介護をカバーする構成ができております。また、増収の大部分は介護職員の処遇改善分が占めており、これらは従業員への待遇改善に全額充当するため利益への直接的な影響はございませんが、採用・定着に寄与するものと見込んでおります。その他、トリプル改定に伴う事務手続き面での変更対応等により一時的な混乱などにより、集客面での動きにも鈍さが見られましたが、徐々に落ち着きを取り戻してきております。

②待遇改善の実施につきましては、当社グループでは6月施行の報酬改定による処遇改善分の見直しを見据えて、4月から前倒しでの正社員の待遇改善（例年は7月実施）を実行したことで人件費が増加いたしました。

③新規出店による影響としましては、当連結会計年度においては、訪問介護1ヶ所、訪問入浴1ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、訪問看護3ヶ所、デイサービス2ヶ所、看護小規模多機能型居宅介護2ヶ所の合計10ヶ所（前年同期：5ヶ所）の新規開設を実施したことによる開設等の費用増であります。これに加えて、当第1四半期連結累計期間においては3件のM&A（株式取得及び事業譲受）を実施しております。サービスとしましては訪問介護1ヶ所、訪問入浴2ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、デイサービス4ヶ所、ショートステイ1ヶ所、サービス付き高齢者向け住宅1ヶ所の合計10ヶ所のサービス事業所を取得し、その業績を取り込んでおります。これらが短期的には減益の一因となっておりますが、早期黒字化と収益改善を進めてまいります。

#### ・介護サービス事業

訪問系サービスでは、訪問介護において新規でのお客様獲得は進んでいるものの、前期に引き続き休廃止等の影響によりお客様数が伸び悩んだことや介護報酬改定の影響などにより増収減益となりました。また、訪問看護においては、前期11ヶ所の開設に加えて、当第1四半期連結累計期間に3ヶ所を開設したことでお客様数が増加しましたが、新規開設に伴う費用の増加や待遇改善による人件費の増加などにより増収減益となり、訪問系サービス全体でも増収減益となりました。

施設系サービスでは、看護小規模多機能型居宅介護において、当第1四半期連結累計期間に2ヶ所を開設するなか、前期以前に開設した拠点が順調に収益貢献しております。デイサービスにおいては、当第1四半期連結累計期間にM&Aにて4ヶ所を取得したことで増収となった一方で、新規開設に伴う費用の増加等から減益となっております。

これらの結果、売上高は135億61百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は4億17百万円（同23.0%減）となりました。

なお、当社が推し進めております「コミュニティNo.1戦略」については、当第1四半期連結累計期間末日において42ヶ所で活動しており、今期においても積極的にエリアを拡大してまいります。

#### ・その他

その他においては、ピアサポート株式会社の就労移行支援事業及びケアボット株式会社の介護ロボット販売事業の売上高が減少し、利益が減少いたしました。その結果、売上高は3億26百万円（前年同期比6.2%減）、

営業利益は28百万円（同8.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より10億69百万円（前期末比3.5%）減少し、299億18百万円となりました。

流動資産は、前期末より11億56百万円（同6.6%）減少し、164億96百万円となりました。これは主に売掛金が3億61百万円増加した一方で、現金及び預金が15億97百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より87百万円（同0.7%）増加し、134億22百万円となりました。これは主に投資その他の資産が1億51百万円減少した一方で、無形固定資産が1億44百万円、有形固定資産が94百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より6億70百万円（同7.9%）減少し、78億13百万円となりました。これは主に未払金が10億2百万円増加した一方で、賞与引当金が8億63百万円、未払法人税等が6億33百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億22百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より84百万円（同1.3%）減少し、63億50百万円となりました。これは主に長期借入金89百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より3億14百万円（同2.0%）減少し、157億54百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億36百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、2024年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,021,974	6,424,794
売掛金	8,459,988	8,821,834
棚卸資産	118,884	116,607
その他	1,067,015	1,146,830
貸倒引当金	△14,863	△13,772
流動資産合計	17,652,998	16,496,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,070,064	5,180,103
リース資産(純額)	2,379,369	2,339,143
その他(純額)	1,301,497	1,326,195
有形固定資産合計	8,750,930	8,845,441
無形固定資産		
のれん	301,756	410,515
その他	279,991	315,988
無形固定資産合計	581,747	726,504
投資その他の資産		
差入保証金	2,089,418	2,084,432
その他	1,912,667	1,765,732
投資その他の資産合計	4,002,085	3,850,164
固定資産合計	13,334,763	13,422,110
資産合計	30,987,762	29,918,404
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	549,550	545,419
短期借入金	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	965,389	843,039
リース債務	176,558	176,368
未払金	3,642,864	4,645,313
未払法人税等	772,598	139,244
賞与引当金	1,341,876	477,949
その他	1,035,636	966,248
流動負債合計	8,484,473	7,813,584
固定負債		
長期借入金	1,280,166	1,190,282
リース債務	2,782,103	2,740,901
退職給付に係る負債	2,100,248	2,145,310
資産除去債務	166,216	172,711
その他	105,830	100,951
固定負債合計	6,434,564	6,350,157
負債合計	14,919,037	14,163,741

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,405	1,772,405
資本剰余金	1,728,305	1,728,305
利益剰余金	12,801,029	12,564,241
自己株式	△229,548	△312,648
株主資本合計	16,072,192	15,752,304
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△84,052	△78,225
その他の包括利益累計額合計	△84,052	△78,225
新株予約権	80,584	80,584
純資産合計	16,068,724	15,754,663
負債純資産合計	30,987,762	29,918,404

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	13,400,663	13,808,105
売上原価	11,656,372	12,149,525
売上総利益	1,744,291	1,658,580
販売費及び一般管理費	959,172	1,048,127
営業利益	785,118	610,452
営業外収益		
受取利息	1,034	955
受取配当金	2,101	2,787
受取保険金	3,115	3,081
受取家賃	11,263	12,486
補助金収入	17,310	37,509
助成金収入	4,719	2,457
その他	12,830	10,506
営業外収益合計	52,375	69,785
営業外費用		
支払利息	32,659	30,263
持分法による投資損失	7,646	2,263
その他	5,672	3,823
営業外費用合計	45,978	36,349
経常利益	791,514	643,889
特別利益		
固定資産売却益	—	170
補助金収入	5,581	975
特別利益合計	5,581	1,145
特別損失		
固定資産除却損	764	45
固定資産圧縮損	5,089	650
減損損失	4,696	—
特別損失合計	10,550	695
税金等調整前四半期純利益	786,545	644,339
法人税等	301,529	263,150
四半期純利益	485,015	381,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,015	381,188

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	485,015	381,188
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3,865	5,827
その他の包括利益合計	3,865	5,827
四半期包括利益	488,880	387,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,880	387,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	227,763千円	220,354千円
のれんの償却額	18,284	21,532

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	13,157,778	13,157,778	242,884	13,400,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	900	900	104,783	105,683
計	13,158,678	13,158,678	347,667	13,506,346
セグメント利益	542,457	542,457	31,698	574,156

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,457
「その他」の区分の利益	31,698
セグメント間取引消去	787,307
のれんの償却額	71
全社費用(注)	△576,417
四半期連結損益計算書の営業利益	785,118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	介護サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	13,561,130	13,561,130	246,974	13,808,105
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	79,057	79,057
計	13,561,130	13,561,130	326,032	13,887,162
セグメント利益	417,951	417,951	28,955	446,907

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アウトソーシング受託サービス、介護保険請求ASPシステムの販売等の各事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	417,951
「その他」の区分の利益	28,955
セグメント間取引消去	809,908
のれんの償却額	71
全社費用（注）	△646,434
四半期連結損益計算書の営業利益	610,452

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。